

2024年8月
特定非営利活動法人 共同連
代表 斎藤 縣三

第39回共同連大会 IN 大阪 開催にあたっての協賛に関するお願い

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私たち共同連は「障害者のあるなしに関わらず、共に働く場、共にくらす場をつくり、社会全体を共に生きる場としていく」ことを理念に掲げ、1984年に結成しました。2009年には、障害者に限らず社会的に排除された人たちとともに働く場として「社会的事業所」を提唱し、活動を広げています。新型コロナの影響によって2年間開催できない期間を経て、一昨年からはオンライン会議システムを併用して一日間のみの大会を開催しました。今年度より、新型コロナ以前までと同じように開催期間を二日間に戻して大阪にて全国大会を開催する運びとなりました。今回の大会テーマは「ひとひとりにはストーリーがある だから思い通りにはさせへんで！～障害者雇用率ビジネスと悪きA型の実態を知り 共に働くを問い直す～」としました。

共同連は一般雇用でもなく、福祉的就労でもない、第3の就労としての「共働」をめざしてきました。ところが2010年代より就労継続支援A型事業を悪用した「悪しきA型」が増長し、2010年代後半からは雇用の分野で障害者雇用率を売買する「障害者雇用率ビジネス」が急拡大しています。全体会の記念講演では、障害者雇用率ビジネスの問題点について発信している共同通信の市川亨さんにはその実態と問題点についてお話いただき、シンポジウムでは福祉的就労も含めてその問題の根本が何であるのかを議論します。

全体会の後半では「共に働く」場を広げるために社会的協同組合を展望する」というテーマで、障害者雇用率ビジネスや悪しきA型事業所のようなインクルーシブではない働き方が広がり続ける中、「共に働く」場を広げるためには障害者総合支援法や障害者雇用促進法とは違うどのような仕組みが必要なのかということについて議論いたします。

また、特別報告として被災障害者の支援活動を長年に渡って取り組んでいるゆめ風基金より能登半島地震の被災障害者の現状についてご報告いただくプログラムもあります。二日目には、「働く」「くらす」「まなぶ」「共に働く（仕事づくり）」「就労ワークショップ」の5つの分科会を行います。

当団体の活動は、理念に共感する団体や個人に支えられているため、経済的基盤は弱い運営が続いております。そこで、貴団体におかれましては当団体が開催する「第39回共同連北海道大会 in 多摩」に対し、協賛をお願いしたくご依頼申し上げます。協賛に際しましては、大会の資料と共同連ホームページにお名前を掲載する他、金額に応じて広告を掲載いただくことも可能です。当団体の事業にご賛同いただき、ご協賛いただけたら大変幸いに存じます。

連絡先：特定非営利活動法人 共同連 全国事務局
TEL：052-938-5309 FAX：052-938-5309
メール：kyodoren@gmail.com